

公共事業新規評価調書(整備系)

本部分 部名	交通政策部	記入 責任者	港湾課	課長	田崎 茂樹
			唐津土木事務所	所長	山下 孝一

事業 区分	港湾 生活関連事業	事業名	地区名等	総事業費	48百万円
		港湾整備事業	唐津港 (大島地区)		
事業地			着工予定年度	完成予定年度	
唐津市西大島町地内			平成26年度	平成26年度	
事業目的			事業内容		
唐津港においては、大島地区に砂の取扱いを集約している。周辺は住宅地が密集しており、砂置き場から住宅地へ砂が飛び、住民からの苦情が多い。このため、風上から砂山に散水して砂の舞い上がりを減少させ、飛砂防止を図ることを目的としている。			事業延長 L=400m 散水施設設置 L=400m		
評価の視点	評価内容				評価
(1)位置づけ	伊万里港・唐津港の整備及び利活用促進				10
	・港湾法上の計画の位置付けが有る施設。(重要港湾)				60
	・地域の振興に大規模に寄与する。				10
	・プロジェクトや、他事業との関連がない。				0
計					80
(2)必要性・効果	・費用対効果 (1.0 以上～2.0 未満)				40
	・港湾環境整備施設の不足				20
	・基準等は満足している				0
計					60
(3)実施環境	・事業に対して協力的で、漁業補償・用地買収等の調整が図られている。				60
	・協議会等の組織はないが、計画に対して協力的である。				20
	計				

評価	ABA	条件等
判断		特になし。
	優先的に事業を実施	

定性評価調書

自然環境保全

内 容
特になし。

動植物の保護、農地の保全、山地・山間地の保全、水辺環境の保全等に配慮している事項について、工法、対策、留意事項を記載。

生活環境対策

内 容
・施工にあたっては、排出ガス対策型の施工機械を使用するなど、大気汚染、水質汚濁等の環境保全対策を講ずる。

大気・水・土壌・地盤環境の保全、リサイクル、文化財、バリアフリー、周辺土地利用状況等に配慮する事項について、工法、対策、留意事項を記載。

コスト縮減策

内 容
・散水施設設置に伴い発生する建設発生土は、埋戻材として再利用することで、コスト縮減に努め、資源の有効利用を図る。

再生材・発生材の使用等、具体的なコスト縮減策を記載。

その他

内 容
・特になし。

特に記述することがあれば記載。